

SLモルタル天端用 関東  
標準施工要領書

二瀬窯業株式会社

### 練り混ぜ

- ・SL モルタル天端用 1 袋 (25kg) に対し所定の水量で混練して下さい。

標準練水量            1 袋 (25kg) につき 7.0~7.5ℓ  
※ただし、25℃以上の場合は 7.5~8.0ℓ

- ・所定の水量を容器に入れ、SL モルタル天端用を除々に投入しながら高速ハンドミキサー(回転速度 600rpm 以上)で混練して下さい。
  - ・流動性が発揮されるまで 3 分以上、ダマがなくなるまで十分に混練して下さい。
- ※水量の入れ過ぎはひび割れ・強度不足等の原因になるので練水量を厳守して下さい。  
※異常膨張することがあるのでアルミ製羽根付きのハンドミキサーは使用しないで下さい。  
※混練した材料は 40 分以内に使用して下さい。

### コンクリート打設時の処理

- ・コンクリート打設時に極端な不陸ができないようにして下さい。
- ・コンクリート打設は仕上がり天端より10mm 下がりが標準です。(最低5mm は確保して下さい。)

### レベル表示

約50cm 間隔でアタリを設置して下さい。

### 流し込み

- ・下地コンクリート表面のブリージング水(浮き水)が引いてから流し込んで下さい。
  - ・混練した SL モルタル天端用を端部よりレベルの高さまで除々に流し込んで下さい。
  - ・流し込み後、トンボ・ヘラ等により表面の均しを行ってください。
- ※レベルの調整は一度に行うようにし、時間をおいての打ち継ぎを行わないで下さい。  
※平坦に仕上げるため、流し込みは、練り混ぜ後素早く行って下さい。

### 養生

- ・直射日光、雨風を避けるため、施工後は必ずシート等で養生を行って下さい。
- ・型枠脱型までの養生期間は、SL モルタル天端用が硬化するまで十分にとって下さい。  
特に低温時には 3 日以上養生を行って下さい

### 硬化後の処理

- ・型枠解体後に SL モルタル天端用端部のバリを除去して下さい。

#### 注意事項

- ・ 不具合の原因になるので練水量を厳守して下さい。
- ・ 異常膨張することがあるのでアルミ製羽根付きのハンドミキサーは使用しない下さい。
- ・ 寒冷期、気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、原則として施工を行わないで下さい。
- ・ 固まったものの使用は、避けて下さい。
- ・ 開封後の材料は、使いきって下さい。
- ・ 他のものとの混ぜ合わせは、避けて下さい。